第五号

森ボラ新聞

発行日
2008年2月
発行者
福島県森林ボランティア
サポートセンター
〒969-1302
安達郡大玉村玉井字長久保68
ふくしま県民の森
フォレストパークあだたら内
TEL0243-48-2040
http://www.f-vfsc.com/
E-mail:info@f-vfsc.com

団体紹介
その6

「森ボラ新聞」では、県内で活発な活動を行っている森林ボランティア団体を紹介しています！

NPO法人わかば自然楽校

NPO法人わかば自然楽校は、環境教育や自然体験の実践を通して持続可能な社会づくりを進めることを目的として、平成十五年六月に設立されました。現在会員は二十歳代から七十歳代まであわせて十八名。会津・磐梯地域において、地域の小・中学生を対象とした「こどもエコクラブ」、地域の幼児とその保護者を対象とした「ふれあい幼稚園」、毎年夏休みに開催される「こどもキャンプ教室」といった通年プログラムのほか、平成十九年度は各種助成金による事業「親子で森遊びフェスタ」や「裏磐梯湖沼群の歴史と今を訪ねるツアー」も主催されています。会員のみなさんは、それぞれの得意分野を活かしながらこうした事業に取り組んでいらっしゃいます。

「参加者からお金をいただいて環境教育プログラムを提供する」という事業だけに注目してしまうと「お金儲けの観光業」と思う方もいらっしゃるのでは？とお尋ねしたところ、事務局の五十嵐さんは「わかば自然楽校の設立目的にもありますが、持続可能な社会を作りたい。そのための環境教育だということを常に心がけています。観光ガイド的に自然を案内した場合、参加されるのはほとんどが県外の方ですし、滞在時間も短いです。短時間の環境教育プログラムでは、自然に触れることは可能ですが、環境に対して行動を起こすというところまで到達するのは困難です。それに県外の方が対象では、会津・磐梯地域の森や自然を守り伝える主体にはなりにくいと思うんです。地域の森や自然を守るのは地域の人である。この視点で事業展開しています。特に地元の子どもたちこそ担い手であると強く感じますね。」とのこと。

今後の活動については「会員内の研修に力を入れたいです。それと、もう少し広報を工夫して、地元の子どもさんにたくさん参加してもらいたいですね。」とのこと。助成金関係の事務や事業の企画・実施に時間をとられ、広報に十分な手が回らない状況とも伺いました。イベントの広報でしたら森林ボランティアサポートセンターのホームページで協力させていただきます！わかば自然楽校では、イベント参加はもちろんのこと一緒に活動する仲間も大募集中だそうです。みなさんのお問い合わせをお待ちしております。

フクロウの巣箱作り
こどもエコクラブの一コマ

みんなで作った巣箱を
みんなで設置しました

事件発生！

１０月１３日にみんなで巣箱掃除をしたところ、中には散乱した鳥の羽が！！

被害者は誰なのか？フクロウの仕業なのか？一体なにが起きたのか！？この謎を推理するのは子どもたちです。

楽校から学校に出前授業！？
総合学習のお手伝いです。

環境省から指定されている生物ウチダザリガニを生態系に特定外来生物として見つけ展開中！プログラムも地域通信

巣箱と同じく手作りのマスコット

お問い合わせ
NPO法人わかば自然楽校
事務局　五十嵐悟
〒965-0014
会津若松市大塚2-4-32
TEL 070-5472-2148(18:00以降)
FAX 0242-22-4315
E-mail igabo2555@yahoo.co.jp

ゴーグル姿が格好いい！
大地に触れる化石探し。
（こどもエコクラブ）

エンヤコラと網を入れ
水生昆虫観察しました。
（こどもキャンプ教室）

いつもと違う視点で遊んでみると、
森の中はハテナ？ビックリ！が一杯です。
（こどもキャンプ教室）

イベント参加レポート

平成十九年十一月二十四日（土）
うつくしま21 森林づくり活動発表交流会

「うつくしま21森林づくり活動発表交流会」は、県内の森林ボランティア団体のみなさんが日頃の活動を発表される年に一度の貴重な集まりです。森林ボランティアサポートセンターでは、この機会を逃すことなく取材にお邪魔いたしました。

初日の活動発表会は、福島市佐原のあづま総合体育館研修室にて、次の日の森林整備体験は、福島市土湯温泉町にあるびっき沼周辺にて行われ、このうち初日の活動発表会にお邪魔いたしました。

まず始めに、事務局として本会の準備・開催に尽力された「森林においでよ県北ネットワーク21」を代表して、会長の阿部幹郎さんから開会のことばが、続いて主催者である「うつくしま21森林づくりネットワーク」会長の渡辺一夫さんから挨拶がありました。

多様な活動を展開されている横路美喜緒氏

引き続き「森林ボランティアのこれからのあり方」と題し、埼玉県で活動されているネイチャーテクノロジー株式会社主任研究員の横路美喜緒さんより基調講演がありました。平成九年に埼玉森林サポータークラブが結成され、県内各地で森林ボランティア活動が行われていること、埼玉県内の活動にとどまらず、日本を代表する山、富士山の周辺で「緑の募金の森」活動を行っていること、埼玉県の神泉村で、地域と協働でクラブハウスを建設し、森林整備活動、文化活動、教育活動などを行っていること、ボランティアならではの社会貢献のあり方やその成果の上げ方があることなど、興味深いお話を伺うことができました。また、NPOとして他の団体との共同で「埼玉県県民の森」の管理運営を行っているとのことです。

最後に、森林整備活動では最も大切なことのひとつ、森林ボランティアの安全管理の重要性とその取り組み（市民参加の森林づくりにおける安全技術・技能習得制度）についての話題提供があり、福島県内での森林づくり活動にとても参考となる有意義なお話しをいただきました。午後からは、県内各地からの活動報告や講演がありましたが・・・続きは次号にてご報告いたします。

○○○